

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成25年度～平成29年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（いしかりそらち） 石狩空知森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 いしかり 石狩森林管理署
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	石狩森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の南西部に位置する、札幌市を含む7市5町2村に所在する約212千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区のうち当署管内は、支笏洞爺国立公園、ニセコ積丹小樽海岸国定公園、道立自然公園野幌森林公園など優れた景観を有しており保健休養の場として数多くの観光客が訪れることから、観光資源としての特性も兼ね備える。また、藻岩山や円山などは都市近郊の自然としてその保全や森林とのふれあいに対する期待が高まっている。</p> <p>また、多様な森林群落が存在する漁岳地域は保護林に指定され、周辺の自然環境の維持保全に配慮した施策が求められる。</p> <p>森林の現況は、人工林面積がトドマツ(60%)を主な樹種に約37千ha、天然林面積は約156千haを有し、森林の蓄積は北海道の平均132m³/haに対して120m³/haとなっている。総面積の約98%が水源涵養を主な目的とした保安林に指定され、札幌市をはじめとした都市圏の水源林として、また、基幹産業の農業の振興や漁場の保全に資する観点から地域の資源保全に重要な役割を果たしている。</p> <p>一方、人工林の齢級構成は、約81%が7～12齢級で、その中でも主伐期とされる10齢級以上の割合は約47%を占め、森林資源の本格的な利用期を迎えており、針広混交林や複層林へ計画的に誘導し木材を安定的に供給するほか、間伐の適切な実施や主伐後の確実な更新を図るなど、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>また、積丹町において森林施策の低コスト化を図るため、事業実施期間開始前の平成20年に「積丹地域森林整備推進協定」を締結しており、さらに、石狩市において市有林を含む民有林と国有林が隣接する地域で更なる合理的な路網整備及び効率的な森林施策を実施することを目的として、事業実施期間開始後の平成26年に「石狩市森林整備推進協定」を新たに締結した。森林整備の実施に当たっては、これらの協定に基づき設定した森林共同施業団地における施業の集約化や森林計画策定のための意見調整を図り、民有林と国有林が連携した森林整備の推進が必要である。</p> <p>このため、本事業は森林の有する公益的機能の持続的な発揮を通じて地域の期待に応えるとともに、森林が二酸化炭素を吸収し地球温暖化防止に貢献するために必要な森林整備や、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新面積 351 ha 保育面積 11,429 ha 路網整備 開設延長 17.0 km 改良延長 0.1 km</p> <p>・総事業費 4,036,451 千円（税抜き 3,760,762 千円） （平成24年度の評価時点 2,765,266 千円（税抜き 2,633,587 千円））</p>		
① 費用便益分析の算定 基礎となった要因の 変化	<p>令和4年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、実行段階における優先度を勘案した事業の実行に伴う事業量の変動等によるものである。</p> <p>総 便 益 (B) 42,927,977 千円（平成24年度の評価時点：20,677,030 千円※） 総 費 用 (C) 7,959,259 千円（平成24年度の評価時点：4,711,639 千円※）</p>		

	分析結果 (B/C) 5.39 (平成24年度の評価時点: 4.39)
② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・更新、保育によって適正に森林が整備され、水源涵養や山地保全、二酸化炭素の固定など、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・林道等の路網整備により、森林整備事業地までの所要時間や木材の搬出距離が短縮されることで経費削減が図られた。 ・計画的な事業の発注を通じて、雇用の場を提供することにより、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。 ・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・水源涵養や山地保全の機能が十分に発揮できる森林が形成されている。 ・周囲の森林と調和した施業は自然景観を保持し、保健機能等を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>北海道の林業就業者数は近年おおむね横ばいで推移する中、本地域においても平成17年度の494人から平成27年度には518人と近年は横ばいで推移しているが、60歳以上の割合は約3割であり、林業後継者の確保が課題となっている。</p> <p>北海道内では木質バイオマスの需要拡大や道産材建材の利用拡大の取組が展開され、木材需要拡大が見込まれる。また、森林による二酸化炭素の吸収に対する期待が高まり、森林整備の重要性が増している。</p> <p>こうした状況の中、国有林においては、効率的な路網配置や共同施業団地における森林整備の在り方などについての現地検討会の開催により林業事業者及び林業技術者の育成の取組を促進するとともに、高性能林業機械を活用した効率的で生産性の高い作業システムの定着を図り、木材の安定供給により地域産業の振興に寄与した。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林資源の適正な管理・循環利用を図りながら森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に事業を実施する必要がある。</p> <p>事業の実施に当たっては、今後の施業を想定した効果的な路網配置に加え、コンテナ苗の活用、伐採と造林の一貫作業により、森林整備の省力化及び低コスト化に資する取組を推進することが課題となる。また、森林による二酸化炭素の吸収に対する期待や北海道産材の需要の高まりに応じた木材の安定供給体制を構築するなど、北海道の林業・木材産業及び地域振興に貢献する取組が求められる。</p> <p>なお、これらの取組は、関連する地域の自治体や林業事業者と現地検討会等を通じて技術の共有を図り、普及に向けて連携することが重要である。</p> <p>地元の意見：</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(札幌市)</p> <p>適切な森林整備事業の実施により、健全な森林が維持され、水源涵養等森林の持つ公益的機能の発揮が図られているものと認識している。</p> <p>今後とも、公益的機能の維持増進に向けた取組を継続されるよう要望する。</p> <p>(小樽市)</p> <p>市内の森林のうち、国有林が約40%を占める小樽市において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できる。</p> <p>森林の有する水源涵養や土砂流出防止機能の発揮は、本市では特に塩谷蘭島地区<small>しおやらんしま</small>などの農業や沿岸漁業の活動の基盤を支えており、また近年では塩谷丸山<small>しおやまるやま</small>に続く近隣の山なみである国有林は、市内はもとより道央圏における、森林浴や登山など、森林レクリエーション愛好者の需要を担っているなど、大変重要な場所でもある。よって引</p>

き続き、適切な整備と管理を実施され、地域の暮らしや産業が保全されるよう、森林環境保全整備事業の継続と適切な国有林の整備を要望する。

(江別市)

道立野幌森林公園は、江別市の総面積の約10%を占める広大な森林であり、市民の憩いの場ともなっていることから、森林整備が適切に実施されたことは、多面的機能の維持、増進につながったと十分に評価できる。

引き続き、地域の暮らしが保全されるよう森林環境保全整備事業継続による国有林の整備を要望する。

(千歳市)

国有林は本市の森林面積の82%を占め、本市の水源及び千歳川流域の保水機能保全、洪水被害の防止に重要な役割を担っており、森林環境保全整備事業による森林整備が実施されたことにより、森林が有する水源涵養機能をはじめとする多面的機能が十分に発揮される森林が形成されたことは大いに評価する。

今後も、本市の水源及び千歳川流域の保水機能を維持・保全するため、森林環境保全整備事業の継続と適切な国有林の整備を要望する。

(恵庭市)

本事業対象の国有林はすべて水源かん養保安林としての役割を担っており、森林整備のための林道確保によって、森林の有する水源涵養機能が十分に発揮されるよう整備事業が実施されたことは十分に評価できる。

引き続き、森林環境保全整備事業の継続と適切な国有林の整備及び管理を要望する。

(北広島市)

本市の国有林は北広島市の中心に位置し、地域における水源林としての役割を担っているだけでなく、レクリエーションの森として多くの市民に親しまれている。これらの森林が、保育作業を主体とした森林整備の実施をとおして、森林の有する多面的機能が発揮される健全な森林の形成がなされたことは評価する。

今後も適切な森林整備をとおして、地域の民有林の模範となるような森林経営をお願いする。

(石狩市)

市内の森林面積の77%を占める国有林において、森林整備が着実に実施されたことは、山地災害の防止や海域環境の向上など本市に数々の恩恵を与えてくれているものと高く評価する。今後も国有林整備事業が適切に実施されること、及び石狩市森林整備推進協定に基づき民有林と国有林との共同施業が推進されることを期待する。

(当別町)

間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより、本町水源林の森林の有する多面的機能が発揮される健全な森林の形成がなされたことは評価する。

現地検討会や発表会等における取組の発信についても、本町にとって有意義であり参考となる。

今後も適切な整備と発信を実施され、模範となるような森林経営をお願いする。

(新篠津村)

本村の森林のうち、全ての森林が防風保安林に指定され、国有林が19%を占めている。

農作物が成長する時期に強い季節風が吹く本村においては、防風保安林が持つ防風機能は、本村の基幹産業である農業の振興に資する観点から重要であり、森林整備事業が実施されていることは評価できる。

引き続き、適切な整備と管理を実施し、森林の有する多面的機能が発揮され、農業振興に資するよう森林環境保全整備事業の継続を要望する。

(積丹町)

本町の面積の約6割を占める国有林における森林環境保全整備事業の実施は、特に沿岸漁業を基幹産業とする本町にとって町民の関心も高く、水源涵養機能をはじめとした森林の持つ多面的機能の発揮を目指す『多様で健全な森林づくり』への期待が高いと評価している。

また、町有林等民有林と連携した先達的な森林づくりの新たな展開による効率的な森林施業や、森林資源の多様な有効活用には、国有林の先導的・指導的な役割は極め

	<p>て大きなものになっている。</p> <p>今後も本事業の継続した安定的、計画的な拡充実施を要望する。 <small>ふるびらちよう</small> (古平 町)</p> <p>町内の森林は国有林の占める割合が高く、国有林は基幹産業である漁業の振興に資する観点から重要であり、森林整備が実施されたことにより、森林の有する多面的機能の発揮が図られたものと評価する。</p> <p>今後も地域の暮らしと産業が保全されるよう、森林環境保全整備事業を継続し、健全な森林形成の維持、促進に向けた取組を継続されることを要望する。 <small>にきちよう</small> (仁木 町)</p> <p>本町の基幹産業である農業の振興に資する観点から重要であり、防風林としての機能や水源涵養機能等の多面的機能が発揮されるため、整備事業が実施されていることについて評価する。</p> <p>引き続き、適切な整備と管理を実施され、地域住民の暮らしと産業が保全されるよう森林環境保全整備事業の継続を要望する。 <small>よいちちよう</small> (余市 町)</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。</p> <p>今後も国有林の整備により、森林の持つ多面的機能の発揮を期待している。 <small>あかいがわむら</small> (赤井川村)</p> <p>村内の森林のうち、国有林が78%を占める赤井川村において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できる。</p> <p>森林整備によって、森林の有する水源涵養や土砂流出防止機能の向上が図られたことは、基幹産業である農業の振興や近年頻発する災害対策に資するものと考えられる。</p> <p>また、本村に立地するキロロリゾートは、貴署の協力によって国有林を活用したスキー場運営を行っており、国内はもとより海外に向けても森林とのふれあいの場を提供しており、今後も総合的な森林整備を要望する。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本事業は、都市圏の水源地の保全及び基幹産業の農業や沿岸部の漁場保全に資する観点から、森林の有する水源涵養機能をはじめとする多面的機能の発揮に重要な役割を果たしている。また、民有林との連携による技術支援や林業事業体の育成、効率的な森林整備の実施及び保健文化機能の維持増進などに寄与する観点からも事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 現況に即した路網配置や路網と高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られたことから、事業採択時と比較すると、B/Cは増加しており、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業により、森林の有する多面的機能が一層発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。また、観光資源及び都市近郊林としての自然環境の維持保全においても大きく貢献している。水源涵養や山地保全の機能が発揮され、基幹産業の振興や地球温暖化防止に寄与していることから、事業の有効性が認められる。

※平成24年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成25年度～平成29年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（いしかりそらち） 石狩空知森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 そらち 空知森林管理署												
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	空知森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の南西部に位置する、岩見沢市を含む6市5町に所在する約166千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区のうち当管内は、森林や湖沼など自然美に富んだ景勝地を有しており、夕張岳を主峰とする富良野芦別道立自然公園には保健休養の場として数多くの観光客が訪れるほか、利根別自然休養林や馬追自然の森自然観察教育林は市民の憩いの場、自然観察学習の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>中でも夕張岳は特異な地質に由来する多様で希少な高山植物群落が分布し、固有種のユウバリソウやユウバリコザクラなどが生育することから天然記念物に指定され、豊かな自然環境の保全が重要である。</p> <p>森林の現況は、人工林面積がトドマツ(74%)を主な樹種に約46千ha、天然林面積は約108千haを有し、森林の蓄積は北海道の平均132m³/haに対して146m³/haとなっている。さらに、総面積の約98%が水源涵養を主な目的とする保安林に指定され都市圏の水源地を担っており、下流域に位置する石狩平野の田園地帯においては基幹産業である農業の振興に資する観点からも地域の資源保全に重要な役割を果たしている。</p> <p>また、石狩平野には強い季節風が吹き込むことから防風保安林が格子状に配置され、凸型林型化による防風林の機能向上により地域の生活環境の保全が期待される。</p> <p>一方、人工林の齢級構成は、約83%が7～12齢級で、その中でも主伐期とされる10齢級以上の割合は約41%を占め、森林資源の本格的な利用期を迎えており、針広混交林や複層林へ計画的に誘導し木材を安定的に供給するほか、間伐の適切な実施や主伐後の確実な更新を図るなど、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>このため、本事業は森林の有する公益的機能の持続的な発揮を通じて地域の期待に応えるとともに、森林が二酸化炭素を吸収し地球温暖化防止に貢献するために必要な森林整備や、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>38 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>6,544 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>28.0 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.9 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 3,788,297 千円（税抜き 3,530,618 千円） （平成24年度の評価時点 6,421,635 千円（税抜き 6,115,843 千円））</p>			森林整備	更新面積	38 ha		保育面積	6,544 ha	路網整備	開設延長	28.0 km		改良延長	0.9 km
森林整備	更新面積	38 ha													
	保育面積	6,544 ha													
路網整備	開設延長	28.0 km													
	改良延長	0.9 km													
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和4年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、実行段階における優先度を勘案した事業の実行に伴う事業量の変動等によるものである。</p> <p>総 便 益 (B) 36,338,742 千円（平成24年度の評価時点：27,094,556 千円※） 総 費 用 (C) 8,141,476 千円（平成24年度の評価時点：7,550,577 千円※） 分析結果 (B/C) 4.46（平成24年度の評価時点：3.59）</p>														
② 事業効果の発現状況	<p>・更新、保育によって適正に森林が整備され、水源涵養や山地保全、二酸化炭素の固定など、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・林道等の路網整備により、森林整備事業地までの所要時間や木材の搬出距離が短縮</p>														

	<p>されることで経費縮減が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な事業の発注を通じて、雇用の場を提供することにより、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。 ・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・水源涵養や山地保全の機能が十分に発揮できる森林が形成されている。 ・周囲の森林と調和した施業は自然景観を保持し、保健機能等を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>北海道の林業就業者数は近年おおむね横ばいで推移する中、本地域では平成17年度の354人から平成27年度には274人と減少傾向で推移しており、60歳以上の割合が約3割であることから、林業後継者の確保が課題となっている。</p> <p>北海道内では木質バイオマスの需要拡大や道産材建材の利用拡大の取組が展開され、木材需要拡大が見込まれる。また、森林による二酸化炭素の吸収に対する期待が高まり、森林整備の重要性が増している。</p> <p>こうした状況の中、国有林においては、コンテナ苗の植付や高性能林業機械による間伐の実施等に関する現地検討会や農業高校生のインターンシップの受け入れ等を通じて林業事業体及び林業技術者の育成の取組を促進するとともに、高性能林業機械を活用した効率的で生産性の高い作業システムの定着を図り、木材の安定供給により地域産業の振興に寄与した。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林資源の適正な管理・循環利用を図りながら森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に事業を実施する必要がある。</p> <p>事業の実施に当たっては、今後の施業を想定した効果的な路網配置に加え、コンテナ苗の活用、伐採と造林の一貫作業により、森林整備の省力化及び低コスト化に資する取組を推進することが課題となる。また、森林による二酸化炭素の吸収に対する期待や北海道産材の需要の高まりに応じた木材の安定供給体制を構築するなど、北海道の林業・木材産業及び地域振興に貢献する取組が求められる。</p> <p>なお、これらの取組は、関連する地域の自治体や林業事業体と現地検討会等を通じて技術の共有を図り、普及に向けて連携することが重要である。</p> <p>地元の意見：</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(夕張市)</p> <p>夕張市において森林整備が適切に実施され、森林の有する多面的機能が発揮される健全な森林の形成がなされたことを評価する。</p> <p>本市における農地は国有林と接している。森林の有する多面的機能のうち、特に土砂流出防止機能の発揮は、基幹産業である農業（夕張メロン）の振興に資する観点から重要である。よって、引き続き森林環境保全整備事業の実施と適切な国有林の整備を期待する。</p> <p>(岩見沢市)</p> <p>国有林は、岩見沢市内における水源林の一部として、本市の基幹産業である農業の振興などに重要な役割を担っている。</p> <p>本事業において、間伐などの森林整備を行ったことにより、水源涵養をはじめとする森林の有する多面的機能が発揮される健全な森林形成が進められたことを評価する。</p> <p>今後も適切な森林整備と管理を実施され、さらなる健全な森林の形成を進めていただくとともに、民有林の模範となるような森林経営をお願いする。</p>

また、都市近郊林である利根別自然休養林においては、適切な森林整備によって森林景観や森林空間が形成されたことで、多くの市民と自然と触れ合う機会が増加したことにより、市民の森林に対する理解の醸成に繋がったことを評価する。

今後も多くの市民が豊かな自然と触れ合える場として引き続き国有林を利用できるよう、同事業が継続的に実施されていくことを要望する。

(美唄市)

本市の国有林のうち防風保安林は、広大な農地を生かした土地利用作物の生産において、風害対策等に重要な役割を担っている。また、地域の特徴から降雪量が多く、強風に見舞われるため、地吹雪によるホワイトアウトの防止にもなることが評価できる。

本市の防風保安林は老朽化が進行していることから、保育作業で行った下刈は苗木の成長促進につながっている。そのため、適宜必要な森林環境保全事業の継続を要望する。

国有林は市の水源地上流部にあり、森林整備事業が実施されたことにより森林の持つ多面的機能の発揮と、良好な森林の形成がなされたことは高く評価する。

今後も適切な森林整備の実施と、民有林事業者の手本となるような森林管理を要望する。

(芦別市)

国有林の占める割合が高い本市において、間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより森林の多面的機能が発揮されたことを評価する。また、本市が推進している木質バイオマス事業に必要とするチップ原料となる残材の供給についても貢献された。

今後も、本市における森林・林業・木材産業の発展のため、森林環境保全整備事業の継続を要望する。

(赤平市)

赤平市内の国有林において、つる切や除伐による森林整備が実施されたことにより、森林の有する多面的機能が発揮される健全な森林の形成がなされたことは評価する。

今後も適切な森林整備と管理の実施を要望する。

(三笠市)

市内の森林のうち、国有林を占める割合が高い本市において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものであり、本事業の着実な推進は、木材価格の高騰や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれる。

また治水・周辺市町への浄水機能を有する桂 沢ダムにおいて森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮が重要となるため、今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。

(南幌町)

本町は平坦な立地条件を生かした土地利用型農業を展開しており、防風機能が発揮される森林整備事業が実施されていることは、農業振興の観点から評価できる。

引き続き、基幹産業である農業を守るため防風機能の維持や農村景観保全のため、間伐や保育など計画的な森林環境保全整備事業の実施を要望する。

(由仁町)

本町において、路網整備を含む森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されていると評価できる。

馬追丘陵周辺は多くの市民に利用されていることから、今後も豊かな自然に触れる場としての役割を果たすことができるよう、森林整備の適切な実施とその基盤になる路網整備実施のため、森林環境保全整備事業の継続を要望する。

(長沼町)

森林整備事業により、森林の有する多面的機能の発揮が促進されたものと評価する。また、近年の異常気象等により、国土保全の役割を担う防風林の森林被害も発生してきており、機能の発揮のための継続した森林整備の実施継続を要望する。

(栗山町)

栗山町において、下刈りやつる切の保育作業が森林整備事業として適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できた。

	<p>引き続き、適期に必要な森林整備と基盤となる路網整備が実施されるよう、森林環境整備事業の継続を要望する。 <small>つきがたちょう</small> (月形町)</p> <p>森林環境保全整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の発揮が促進されたと評価できる。</p> <p>保護林に指定されている月形スギ保護林は、文化遺産の保護及び地域住民に森林のふれあいの場を提供しており、保健文化機能が発揮されたと評価できる。また、自然環境の保全を図る観点から、今後とも総合的に適切な森林整備を要望する。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、基幹産業の農業に資する観点から、森林の有する水源涵養や防風機能、快適生活環境形成の発揮に重要な役割を果たしている。また、林業事業体の育成の取組により林業就業者数の確保に寄与している。さらに、地域住民の森林とのふれあいの場を提供し保健文化の維持増進に貢献する観点からも、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 現況に即した路網配置や路網と高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られたことにより事業採択時と比較すると、B/Cは増加しており、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本事業により、森林の有する多面的機能が一層発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。水源涵養や山地保全の機能が発揮され、基幹産業の振興や地球温暖化防止に寄与していることから、事業の有効性が認められる。

※平成24年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成25年度～平成29年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（かみかわほくぶ） 上川北部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 かみかわほくぶ 上川北部森林管理署
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央から北部に位置する、^{しもかわちよう}下川町を含む2市3町に所在する約164千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、^{てしおだけ}原生的自然が残り^{しよこつだけ}道立自然公園に指定されている^{なよろ}天塩岳・^{なよろ}渚滑岳・ウエンシリ岳や、ピヤシリ山系に位置する^{なよろ}名寄ピヤシリスキー場及び落差20mほどあるナイオロップの滝、春の桜や秋の紅葉が美しいアベシナイ風景林などの優れた山岳景観や体験型の観光資源があることから、レクリエーションの場として多くの観光客に利用されている。</p> <p>中でも天塩岳道立自然公園の主峰である天塩岳は、頂上付近に高山植物群落やハイマツ帯が分布するほかナキウサギなど野生動物も見ることができ、希少な動植物が生息・生育することから、周辺地域では保護保全に配慮した森林整備が求められる。</p> <p>また、地域の小学校と森林管理署の間で締結する「遊々の森」協定により子どもが森林にふれる機会としてフィールドを提供するほか、森林環境教育の一環として森林教室の実施を通じて森林を身近に感じることができる取組や森林の機能について理解を深める取組を進めている。</p> <p>森林の現況は、人工林面積がトドマツ（74%）を主な樹種に約36千ha、天然林面積は約123千haを有し、森林の蓄積は北海道の平均132m³/haに対して102m³/haとなっている。水源涵養を主な目的として総面積の約95%が保安林に指定され、地域の水源林として、また、基幹産業の農業の振興に資する観点から地域の資源保全に重要な役割を果たしている。</p> <p>一方、人工林の齢級構成は、約81%が7～12齢級で、中でも主伐期とされる10齢級以上の割合は約35%を占め、森林資源の本格的な利用期を迎えており、針広混交林や複層林へ計画的に誘導し木材を安定的に供給するほか、間伐の適切な実施や主伐後の確実な更新を図るなど、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>このような中で、事業の効率化や低コスト化、森林資源の有効利用が図られるよう、^{なかがわちよう}下川町や中川町においては地域森林整備推進協定を締結し、民有林と国有林が連携した森林整備の推進が求められているほか、公募により木材を一定期間一定量を安定的に供給するシステム販売協定の締結等により地域の木材需要に貢献している。</p> <p>このため、本事業は森林の有する公益的機能の持続的な発揮を通じて地域の期待に応えるとともに、森林が二酸化炭素を吸収し地球温暖化防止に貢献するために必要な森林整備や、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新面積 90 ha 保育面積 5,442 ha 路網整備 開設延長 22.1 km 改良延長 0.2 km</p> <p>・総事業費 2,271,103 千円（税抜き 2,116,305 千円） （平成24年度の評価時点 2,798,516 千円（税抜き 2,665,253 千円））</p>		
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和4年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、実行段階における優先度を勘案した事業の実行に伴う事業量の変動等によるものである。</p>		

	<p>総 便 益 (B) 21,935,142 千円 (平成24年度の評価時点: 21,421,815 千円※) 総 費 用 (C) 4,866,874 千円 (平成24年度の評価時点: 3,264,051 千円※) 分析結果 (B/C) 4.51 (平成24年度の評価時点: 6.56)</p>
② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・更新、保育によって適正に森林が整備され、水源涵養や山地保全、二酸化炭素の固定など、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・林道等の路網整備により、森林整備事業地までの所要時間や木材の搬出距離が短縮されることで経費縮減が図られた。 ・計画的な事業の発注を通じて、雇用の場を提供することにより、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。 ・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・水源涵養や山地保全の機能が十分に発揮できる森林が形成されている。 ・周囲の森林と調和した施業は自然景観を保持し、保健機能等を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>北海道の林業就業者数は近年おおむね横ばいで推移する中、緑の雇用や自治体による人材確保・育成の取組により本地域においては平成17年度の269人から平成27年度には330人と近年は増加傾向で推移しているものの、60歳以上の割合は約3割であり、依然として林業後継者の確保が課題となっている。</p> <p>北海道内では木質バイオマスの需要拡大や道産材建材の利用拡大の取組が展開され、木材需要拡大が見込まれる。また、森林による二酸化炭素の吸収に対する期待が高まり、森林整備の重要性が増している。</p> <p>こうした状況の中、国有林においては、造林作業省力化のための現地検討会の開催や農業高校生の職場体験受け入れを通じて林業事業体及び林業技術者の育成の取組を促進するとともに、高性能林業機械を活用した効率的で生産性の高い作業システムの定着を図り、木材の安定供給により地域産業の振興に寄与した。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林資源の適正な管理・循環利用を図りながら森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に事業を実施する必要がある。</p> <p>事業の実施に当たっては、今後の施業を想定した効果的な路網配置に加え、コンテナ苗の活用、伐採と造林の一貫作業により、森林整備の省力化及び低コスト化に資する取組を推進することが課題となる。また、森林による二酸化炭素の吸収に対する期待や北海道産材の需要の高まりに応じた木材の安定供給体制を構築するなど、北海道の林業・木材産業及び地域振興に貢献する取組が求められる。</p> <p>なお、これらの取組は、関連する地域の自治体や林業事業体と現地検討会等を通じて技術の共有を図り、普及に向けて連携することが重要である。</p> <p>地元の意見：</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(士別市)</p> <p>本市における国有林は、北海道第2の長流である天塩川上流域の大部分を占めており、森林整備事業の実施による水源涵養機能の向上が図られたことは評価する。</p> <p>また、本市の国有林には天塩岳道立自然公園や、耕作地の大規模な防風保安林もあり、今後も森林の持つ多面的機能の充実に向け積極的な事業の実施を要望する。</p> <p>(名寄市)</p> <p>本市風連日新地区水源地上流部にある国有林において、間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより、森林の持つ多面的機能の発揮と良好な森林の形成がなさ</p>

	<p>れたことは、高く評価できる。</p> <p>また、名寄地区のピヤシリ自然休養林及び風連地区の防風保安林については、保健・レクリエーション機能及び防災機能の発揮と併せて計画的な森林整備を期待する。</p> <p>（和寒町） わっさむちょう</p> <p>国有林は町の水源地の上流部に位置しており、森林整備事業の実施により水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮と良好な森林の形成が成されたことは高く評価できる。</p> <p>今後も引き続き適切な森林整備の実施を要望する。</p> <p>（下川町）</p> <p>町内の森林面積のうち、国有林の占める割合が8割を超える本町において、共同施業団地内を含め、間伐を主体とした森林整備事業が着実に実施されたことにより、生物多様性の保全やゼロカーボン推進等に寄与したことは高く評価できる。</p> <p>今後は、地域へのシステム販売の拡大及び地域への木材供給の観点を含め、同事業の継続を要望する。</p> <p>（中川町）</p> <p>中川町内の森林のうち国有林の占める割合が高く、その森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。特に、中川地域森林整備推進協定に基づく森林整備の推進や上川北部森林管理署と中川町が共同運営するストックヤードの設置による地域への波及効果は大きく、今後も引き続き、同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本事業は、基幹産業の農業及び酪農に資する観点から、森林の有する水源涵養や防風機能の発揮に重要な役割を果たしている。また、継続的な地元林業事業者や担い手育成の取組により林業就業者数の確保に貢献している。さらに、地域森林整備推進協定に基づく民有林と連携した施業及び計画的な森林整備の実施により、木材の安定供給を通じて地域の木材産業の振興に寄与する観点からも、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 事業採択時と比較すると、事業量の変動などによりB/Cは低減したが、現況に即した路網配置や路網と高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られるなど、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 本事業により、森林の有する多面的機能が一層発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。水源涵養や山地保全の機能が発揮され、基幹産業の振興や地球温暖化防止に寄与していることから、事業の有効性が認められる。

※平成24年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成25年度～平成29年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（しりべしいぶり） 後志胆振森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 しりべし 後志森林管理署
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	後志森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央から南西部に位置する、倶知安町を含む3市10町4村に所在する約130千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、火山や湖沼、森林、海岸など優れた自然景観を有しており、支笏湖・洞爺湖の2大カルデラをはじめとする様々な地形や現象を含む支笏洞爺国立公園、ニセコ連峰や神仙沼などの名所が集まるニセコ積丹小樽海岸国定公園及び道南最高峰の狩場山を中心とする狩場茂津多道立自然公園などは観光地として1年を通して多くの人々に利用されている。</p> <p>また、無意根山周辺から中山峠周辺まで続く森林はハイマツ・コケモモ群落や亜高山帯の原生的植生などが分布し保護林に指定されているほか、「緑の回廊」により野生動植物の移動経路の確保と生育・生息地の拡大を促し、豊かな森林生態系を次世代に引き継ぐことが重要である。</p> <p>さらに、黒松内地域は北限地帯のブナ林が成立していることから保護林に指定され、その保護を図るため設置された協議会により啓発活動や荒廃が確認された森林の回復を目指す取組が進められている。</p> <p>森林の現況は、人工林面積がトドマツ（78%）を主な樹種に約16千ha、天然林面積は約100千haを有し、森林の蓄積は北海道の平均132m³/haに対して87m³/haとなっている。水源涵養を主な目的として総面積の約96%が保安林に指定され、地域の水源林として機能するほか、沿岸漁業が盛んな日本海及び内浦湾の漁場の保全に資する観点から地域の資源保全に重要な役割を果たしており、有珠山などの火山を有していることや急峻な地形が多いことから、山地災害防止機能の発揮も求められている。</p> <p>一方、人工林の齢級構成は、約86%が7～12齢級で、その中でも主伐期とされる10齢級以上の割合は約52%を占め、森林資源の本格的な利用期を迎えており、針広混交林や複層林へ計画的に誘導し木材を安定的に供給するほか、間伐の適切な実施や主伐後の確実な更新を図るなど、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>このため、本事業は森林の有する公益的機能の持続的な発揮を通じて地域の期待に応えるとともに、森林が二酸化炭素を吸収し地球温暖化防止に貢献するために必要な森林整備や、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新面積 46 ha 保育面積 1,928 ha 路網整備 開設延長 13.2 km 改良延長 0.2 km</p> <p>・総事業費 1,406,800 千円（税抜き 1,308,174 千円） （平成24年度の評価時点 1,045,690 千円（税抜き 993,405 千円））</p>		
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和4年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、実行段階における優先度を勘案した事業の実行に伴う事業量の変動等によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 8,320,311 千円（平成24年度の評価時点： 7,623,114 千円※） 総 費 用（C） 2,646,589 千円（平成24年度の評価時点： 1,386,168 千円※） 分析結果（B/C） 3.14（平成24年度の評価時点： 5.50）</p>		

② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・更新、保育によって適正に森林が整備され、水源涵養や山地保全、二酸化炭素の固定など、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・林道等の路網整備により、森林整備事業地までの所要時間や木材の搬出距離が短縮されることで経費縮減が図られた。 ・計画的な事業の発注を通じて、雇用の場を提供することにより、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。 ・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・水源涵養や山地保全の機能が十分に発揮できる森林が形成されている。 ・周囲の森林と調和した施業は自然景観を保持し、保健機能等を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>北海道の林業就業者数は近年おおむね横ばいで推移する中、本地域においても平成17年度の297人から平成27年度には281人と近年は横ばいで推移しているが、60歳以上の割合は約3割であり、林業後継者の確保が課題となっている。</p> <p>北海道内では木質バイオマスの需要拡大や道産材建材の利用拡大の取組が展開され、木材需要拡大が見込まれる。また、森林による二酸化炭素の吸収に対する期待が高まり、森林整備の重要性が増している。</p> <p>こうした状況の中、国有林においては、誘導伐とコンテナ苗植栽の一括発注や林業専用道の新設等に関する現地検討会の開催により林業事業者及び林業技術者の育成の取組を促進するとともに、低コスト造林技術の普及及び高性能林業機械を活用した効率的で生産性の高い作業システムの定着を図り、木材の安定供給により地域産業の振興に寄与した。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林資源の適正な管理・循環利用を図りながら森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に事業を実施する必要がある。</p> <p>事業の実施に当たっては、今後の施業を想定した効果的な路網配置に加え、コンテナ苗の活用、伐採と造林の一貫作業により、森林整備の省力化及び低コスト化に資する取組を推進することが課題となる。また、森林による二酸化炭素の吸収に対する期待や北海道産材の需要の高まりに応じた木材の安定供給体制を構築するなど、北海道の林業・木材産業及び地域振興に貢献する取組が求められる。</p> <p>なお、これらの取組は、関連する地域の自治体や林業事業者と現地検討会等を通じて技術の共有を図り、普及に向けて連携することが重要である。</p> <p>地元の意見：</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(室蘭市^{むろらんし})</p> <p>本事業実施地域において森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価する。</p> <p>森林の有する水源涵養や土砂流出防止機能の発揮は、農業や漁業の振興に資する観点から重要であるため、森林環境保全整備事業の継続と適切な国有林の整備を要望する。</p> <p>(登別市^{のぼりべつし})</p> <p>本市において森林整備が適切に実施されたことにより、森林のもつ多面的機能が発揮されたと認識している。</p> <p>ついでには、引き続き、必要な森林整備が実施され、森林環境保全整備事業の継続を要望する。</p>

^{だてし}
(伊達市)

伊達市において森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価する。

引き続き、適宜に必要な森林整備と基盤となる路網整備が実施されるよう、森林環境保全整備事業の継続を要望する。

^{しまきむら}
(島牧村)

村内の森林のうち国有林の占める割合が高い本村において、森林整備により山地保護機能や水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮を期待している。

今後についても国有林の整備事業を要望する。

^{ずつちやう}
(寿都町)

本町における森林は、国有林、道有林、一般民有林の面積比率が概ね3割ずつとなっており、いずれの所管においても管理を怠ることにより森林の有する多面的機能の維持・促進が十分に発揮されない可能性がある。

また、水産業を基幹産業とする本町にとっては、森・川・海のつながりは非常に重要であり、寿都湾への森林からの栄養供給は必要不可欠なものである。

そのような中で、重要な林内路網の計画的配置や維持管理等により、地域の森林の有する多面的機能を持続的に発揮できるように、国有林における森林整備が計画的に実施されたことは、非常に評価できるものである。

今後も林業行政の中心として地域と緊密に連携し、森林整備に取り組んでいただくことにより地域林業の活性化と森林の持つ多面的機能の発揮に向け、森林環境保全整備事業の継続と適切な国有林の整備を要望する。

^{くろまつないちやう}
(黒松内町)

森林環境保全整備事業により、黒松内町の森林の有する多面的機能の発揮が促進され、土砂流出の抑制などに寄与し、基幹産業の振興に資する森林施業が実施されたと評価する。また、本事業の着実な推進は、計画的な事業の発注を通じて雇用の場を提供しており、担い手不足などの問題に対して効果が見込まれるため、同事業の継続を期待する。

^{るすつむら}
(留寿都村)

留寿都村において森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できる。

引き続き、適期に必要な森林整備と基盤となる路網整備が実施されるよう、森林環境保全整備事業の継続を要望する。

^{きもべつちやう}
(喜茂別町)

喜茂別町において、森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できる。

引き続き、適期に必要な森林整備と基盤となる路網整備が実施されるよう、森林環境保全整備事業の継続を要望する。

^{きやうごくちやう}
(京極町)

森林環境保全整備事業の実施により、森林が有する多面的機能の発揮が促進され、土砂流出の抑制などに寄与し、基幹産業の振興に資する森林施業が実施されたと評価する。

引き続き、適期に必要な森林整備が実施されるよう、森林環境保全整備事業の継続を要望する。

(倶知安町)

倶知安町において森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できる。

引き続き、適期に必要な森林整備と基盤となる路網整備が実施されるよう、森林環境保全整備事業の継続を要望する。

^{きやうわちやう}
(共和町)

共和町において森林整備が適切に実施され、森林の持つ公益的機能が発揮されたと評価できる。

引き続き、適期に必要な森林整備と基盤となる路網整備が実施されるよう、森林環境保全整備事業の継続を要望する。

^{いわないちやう}
(岩内町)

	<p>地域住民と森林のふれあいの場を提供し、レクリエーションや保健休養など保健文化機能が発揮されるよう、自然環境の保全を図る観点から、今後も総合的に適切な森林整備を要望する。</p> <p>(泊村) <small>とまりむら</small></p> <p>村内森林のうち国有林が80%を占める泊村において、森林整備が適切に行われていると評価できる。</p> <p>また、森林の有する水源涵養や土砂流出防止機能の発揮は、村の基幹産業である漁業の振興に資する観点から重要である。小規模自治体である泊村では十分な森林整備を行うことができないため、森林環境保全整備事業の継続を要望する。</p> <p>(神恵内村) <small>かみえないむら</small></p> <p>神恵内村において森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できる。</p> <p>引き続き、適期に必要な森林整備と基盤となる路網整備が実施されるよう、森林環境保全整備事業の継続を要望する。</p> <p>(豊浦町) <small>とようらちょう</small></p> <p>豊浦町において森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されていると評価する。</p> <p>引き続き、適期に必要な森林整備と基盤となる路網整備が実施されるよう、森林環境保全整備事業の継続を要望する。</p> <p>(壮瞥町) <small>そうべつちょう</small></p> <p>国有林は、本町の地域における水源林としての役割を担っており、間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより、森林の有する多面的機能が発揮される健全な森林の形成がなされたことは大変評価できると考える。</p> <p>また、本町は支笏洞爺国立公園内に位置し、年間180万人（令和元年度）が訪れる観光地である。この景観を活用したアドベンチャーツーリズムの展開等を検討していることから、国有林や林道の整備を推進することで更に森林の多面的な活用に繋がると考えることから、今後も適切な整備と管理を実施していただき、民有林の模範となるような森林経営をお願いする。</p> <p>(洞爺湖町) <small>とうやこちょう</small></p> <p>森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたと評価するが、洞爺湖町内における事業量が少ないので、今後は、同事業の継続と、町内の国有林整備を期待する。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、基幹産業の農業や沿岸部の漁場保全に資する観点から、森林の有する水源涵養機能や土砂流出防止機能の発揮に重要な役割を果たしている。また、優れた観光資源の維持保全や緑の回廊の設定による貴重な野生生物等の生態系保全にも大きく貢献し、保健文化機能をはじめとした多面的機能の維持増進などに寄与する観点からも、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 事業採択時と比較すると、事業量の変動などによりB/Cは低減したが、現況に即した路網配置や路網と高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着が図られるなど、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本事業により、森林の有する多面的機能が一層発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。水源涵養や山地保全の機能が発揮され、基幹産業の振興や地球温暖化防止に寄与していることから、事業の有効性が認められる。

※平成24年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。